

平成 28 年度 市政世論調査

報告書 概要版

この報告書概要版は、平成 28 年 6 月 24 日～7 月 8 日にかけて実施した「平成 28 年度市政世論調査」の主な結果をまとめたものです。

< 目次 >

I. 調査の概要	1
II. 調査回答者の属性	2
III. 調査結果	4
1. 暮らしや居留意向について	4
2. 男女共同参画について	5
3. 市民活動について	7
4. 路上喫煙について	8
5. 在宅医療・介護ニーズについて	9
6. 市内の公共交通について	10
7. 起業について	11
8. 越谷市の伝統的手工芸品について	12
9. 医療費適正化（医療費通知）について	13
10. 景観（風景）について	14
11. こしがやブランド認定品について	15
12. 地場農産物や地産地消について	16
13. 住宅用火災警報器の設置状況について	18
14. 自治基本条例について	19
15. 越谷市への愛着度と魅力発信について	20
16. スポーツ・レクリエーションの実施状況について	21
17. 地域医療体制について	22
18. 広報について	23
19. 越谷市の施策について	24

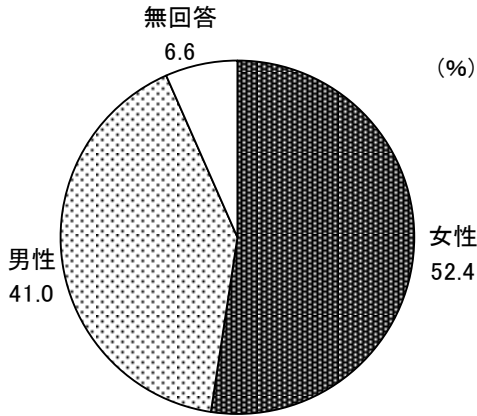
I. 調査の概要

- ◆ 調査地域 : 越谷市全域
- ◆ 調査対象 : 市内在住の 18 歳以上の男女 5,000 人
- ◆ 抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆ 調査方法 : 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- ◆ 調査期間 : 平成 28 年 6 月 24 日～平成 28 年 7 月 8 日
- ◆ 回収結果 : 有効回収数 2,500 人 回収率 50.00%

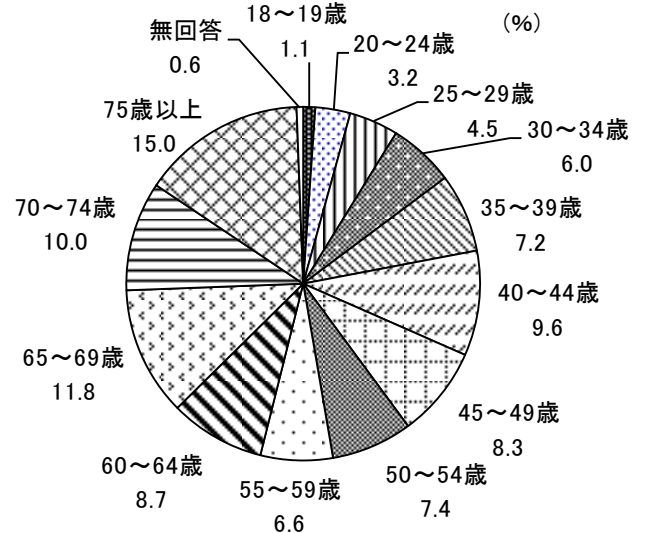
II. 調査回答者の属性

回答者の属性は以下の通りである。

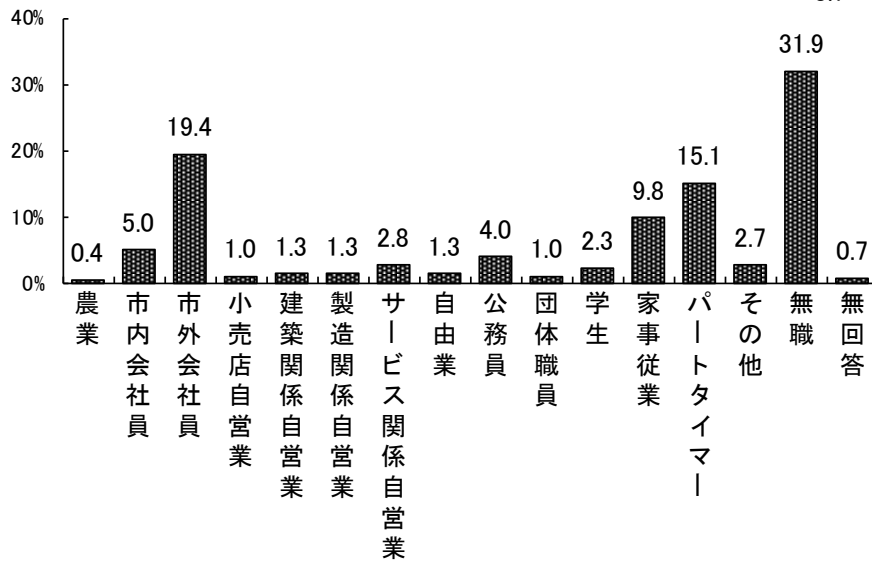
◆性別 (n=2,500)



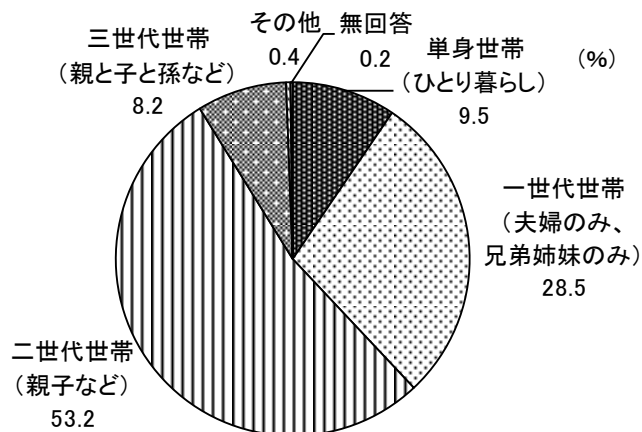
◆年代 (n=2,500)



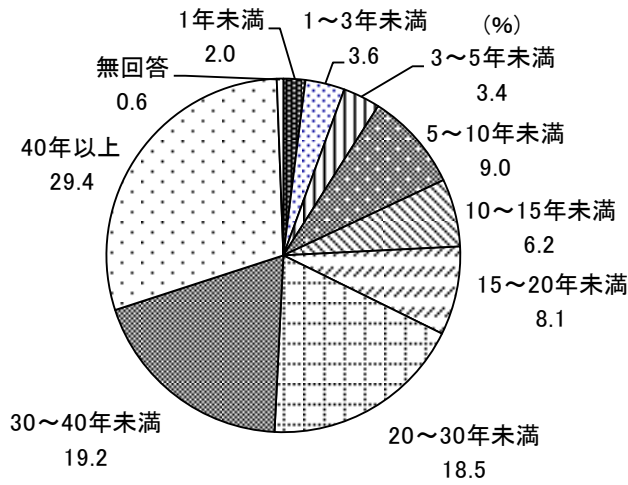
◆職業 (n=2,500)



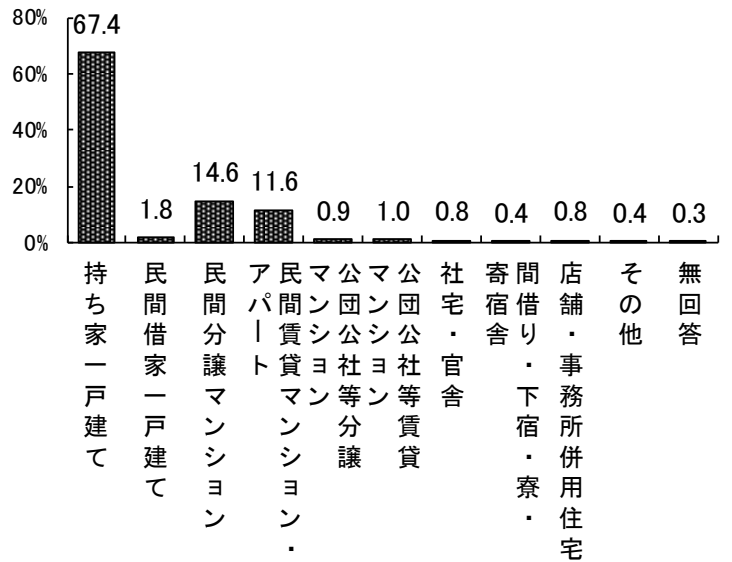
◆世帯の状況 (n=2,500)



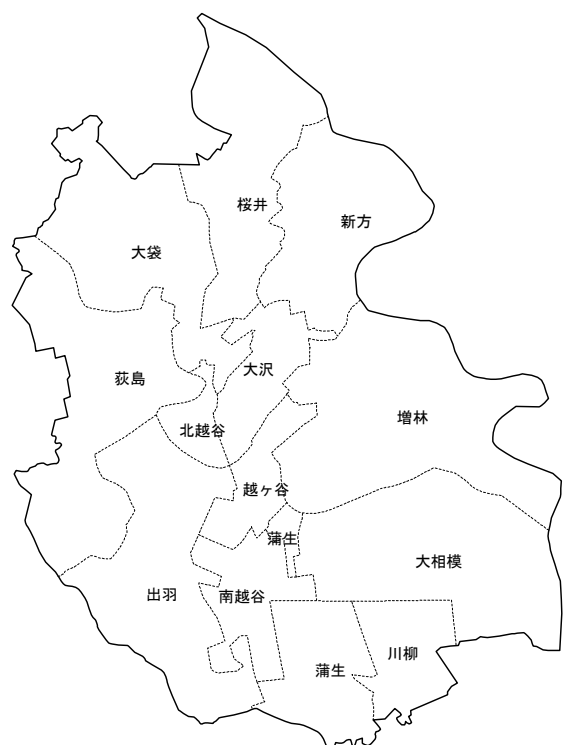
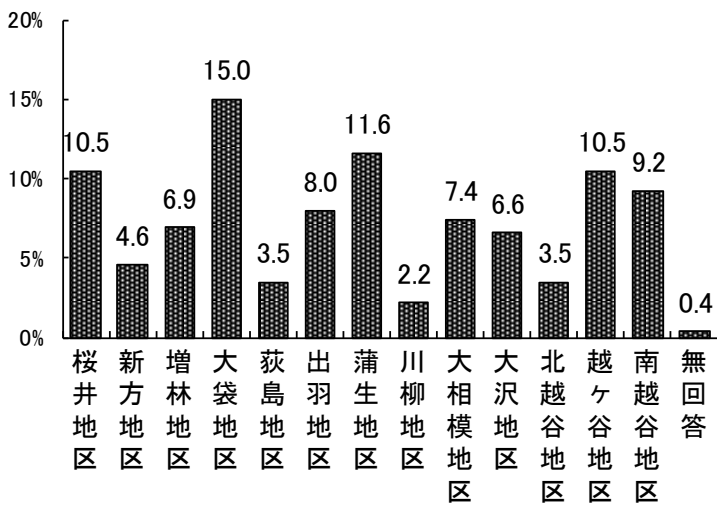
◆居住年数 (n=2,500)



◆居住形態 (n=2,500)



◆居住地区 (n=2,500)



Ⅲ. 調査結果

1. 暮らしや居住意向について

- 現在の暮らし向きについて『満足』（「十分満足している」+「十分とはいえないが、一応満足している」）が5割強。
- 『定住意向』（「ずっと住みたい」+「どちらかといえば住みたい」）は7割半ば。
- 『転居意向』（「どちらかといえば引っ越したい」+「引っ越したい」）の主な理由は、「交通の便が悪いので」が1割強で最も多い。

図 1-1 現在の暮らし向き (n=2,500)

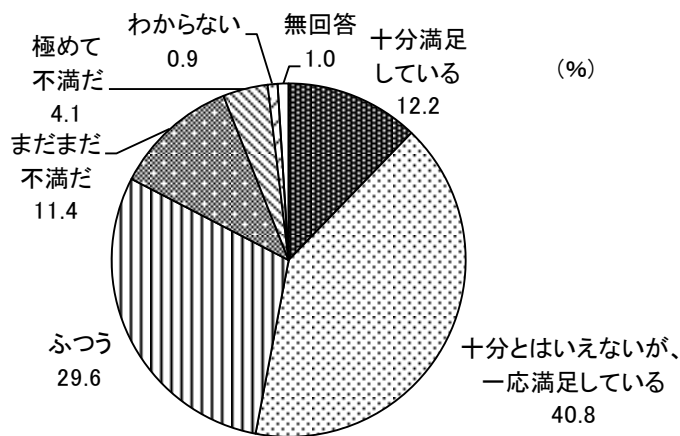


図 1-2 居住意向 (n=2,500)

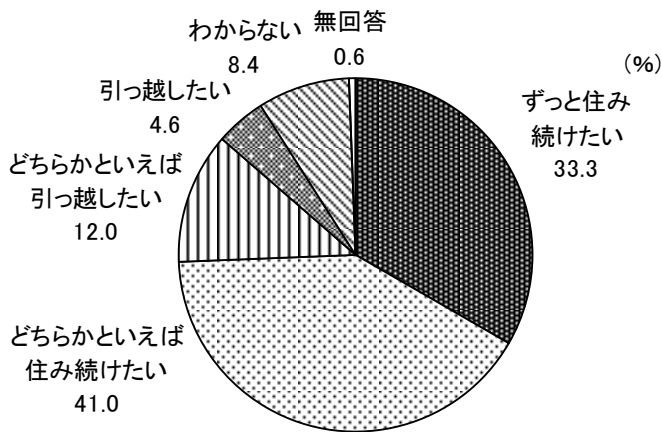
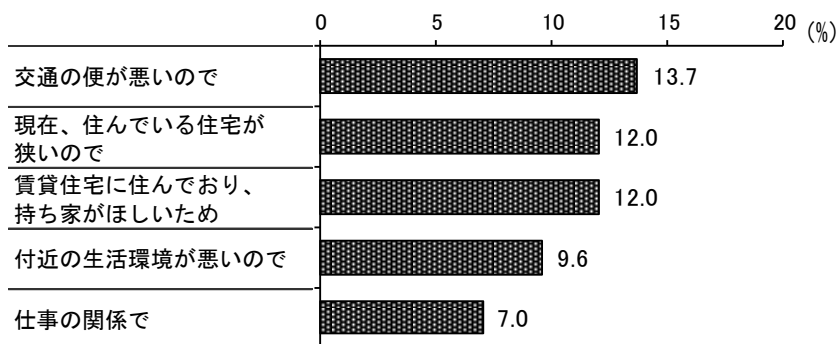


図 1-3 転居意向の理由 (上位 5 位) (n=417)



2. 男女共同参画について

- 男女共同参画における「ことば」や「ことがら」の認知について「内容を知っている」は「DV（ドメスティック・バイオレンス）」が7割強で最も多い。
- 「男は仕事、女は家庭」という考え方は『賛成』（「賛成」+「どちらかといえば賛成」）が約3割、『反対』（「どちらかといえば反対」+「反対」）が5割強。
- 男女平等の考えについて「平等になっていない」と思う分野は「社会通念や風潮において」が約5割で最も多い。
- 女性の働き方について、理想は「結婚や出産にかかわらず仕事を続ける（ている・ていた）」が2割強で最も多く、現実は「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける（ている・ていた）」が約3割で最も多い。
- 仕事をしていく上で、能力に男女差があると思うかについて「そうは思わない」が約5割。

図 2-1 「ことば」や「ことがら」の認知 (n=2,500)

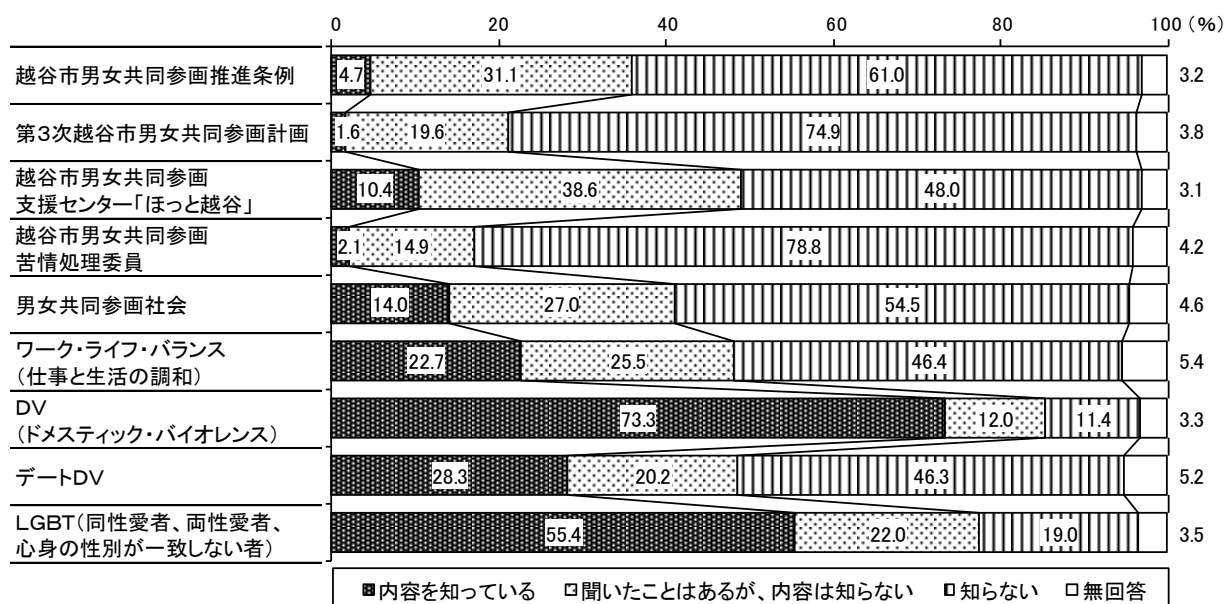


図 2-2 「男は仕事、女は家庭」という考え方の賛否 (n=2,500)

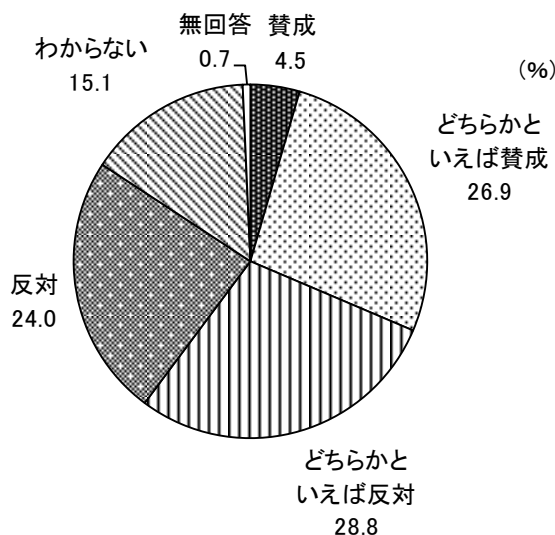


図 2-3 男女平等の考え (n=2, 500)

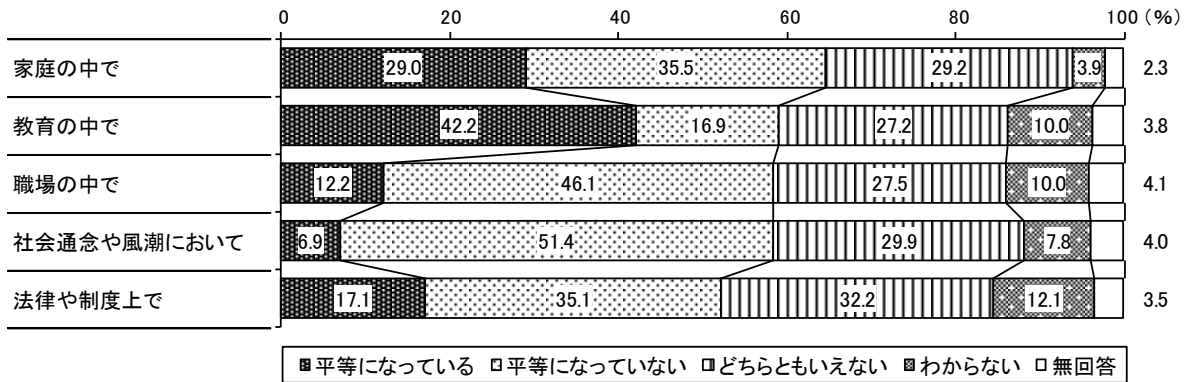


図 2-4 女性の働き方 (理想・現実) (n=2, 500)

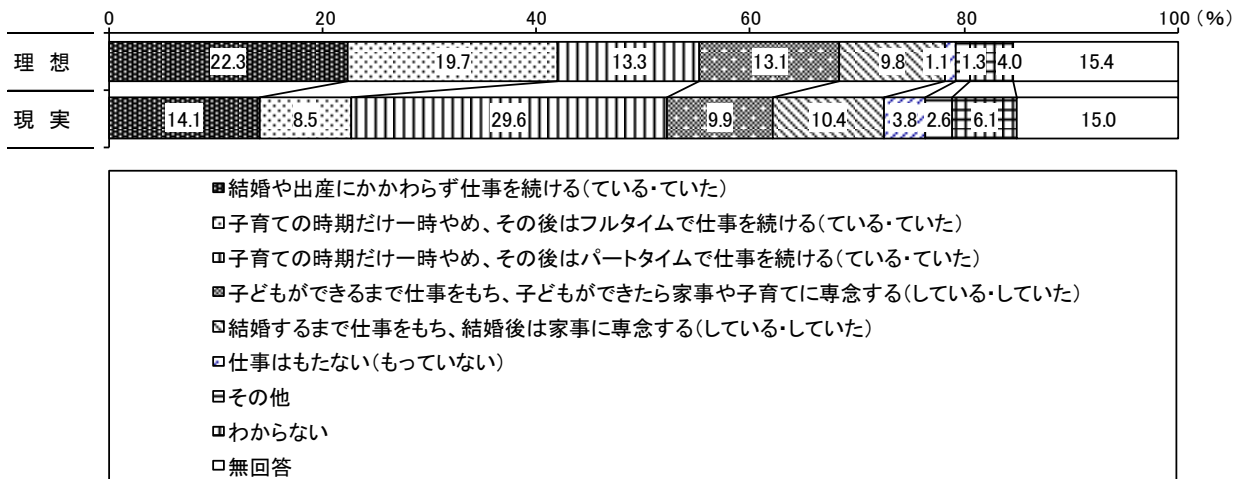
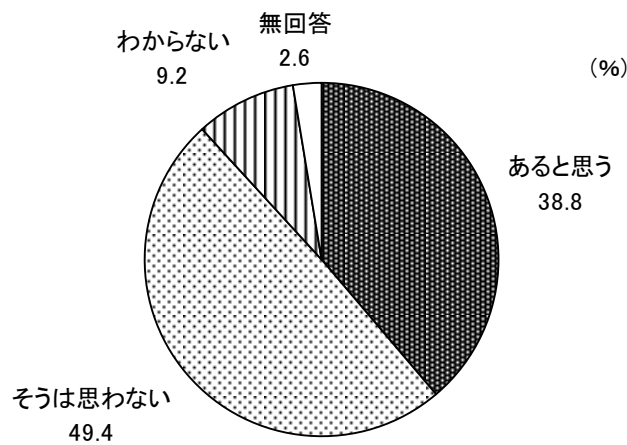


図 2-5 仕事上での男女別能力差 (n=2, 500)



3. 市民活動について

- 市民活動に参加した、または参加したいと思ったことについて「参加したことがある」は約2割、「参加したいと思ったことがあるが、参加しなかった」は2割半ば。
- 市民活動に参加しない理由は「関心がなかったから」が約3割で最も多い。
- 市民活動団体の認知について「よく知っている」が1割弱。
- 市民活動団体に期待することは「行政が取り組まない問題に取り組む」が約3割で最も多い。
- 市民活動支援センターの認知について「知らない」が5割強。
- 市民活動団体に特に望むことは「市民活動に関する情報提供」が約6割で最も多い。

図 3-1 市民活動への参加意向 (n=2,500)

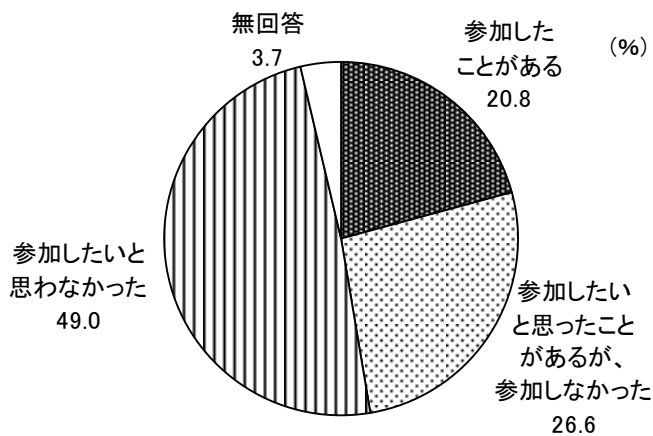


図 3-2 参加しない理由 (n=1,888)

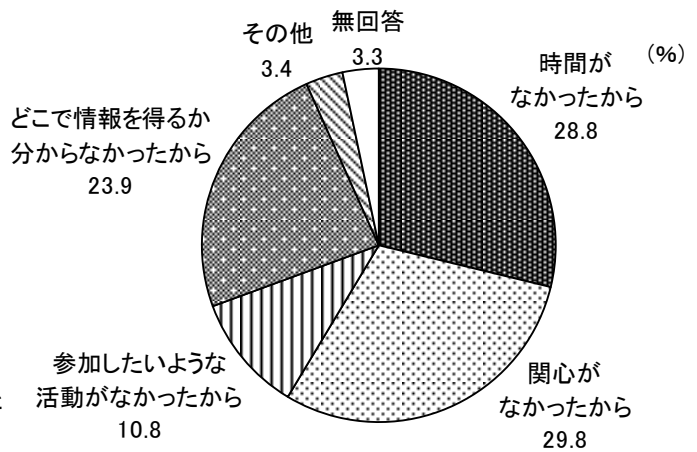


図 3-3 市民活動団体の認知 (n=2,500)

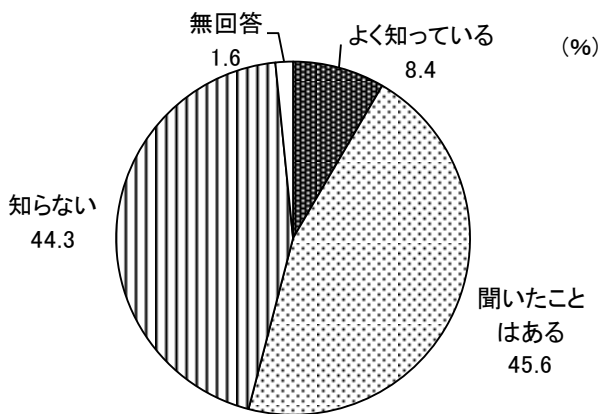


図 3-4 市民活動団体に期待すること (上位 5 位) (n=2,500)

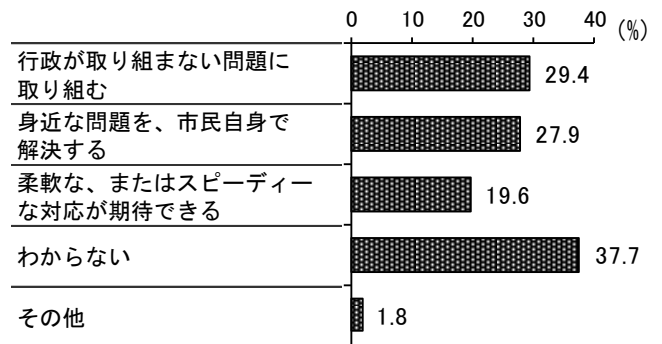


図 3-5 市民活動支援センターの認知 (n=2,500)

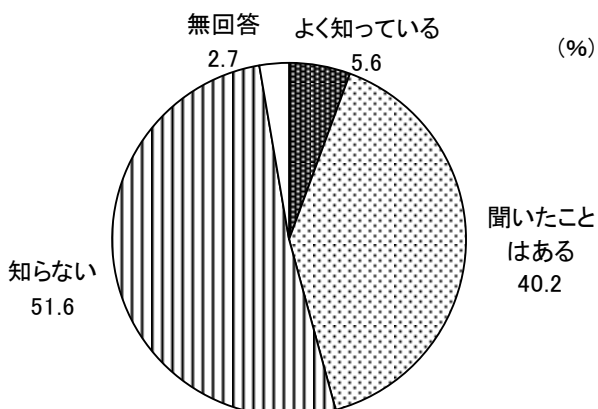
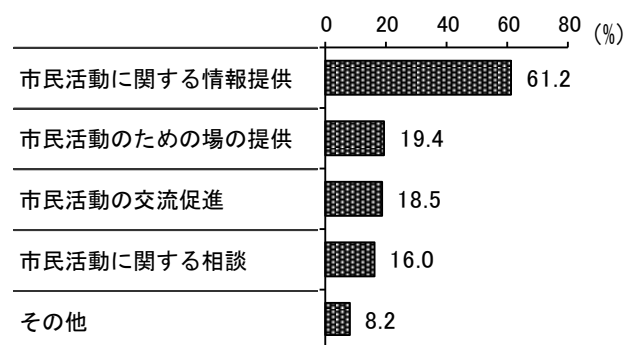


図 3-6 市民活動団体に特に望むこと (上位 5 位) (n=2,500)



4. 路上喫煙について

- 喫煙の有無について「吸う」が1割半ば、「吸わない」が8割強。
- 「越谷市路上喫煙の防止に関する条例」の認知について「知らない」が約5割。
- 「路上喫煙禁止区域」の認知について「知らない」が5割半ば、「禁止区域があるのは知っている」が3割半ば。
- 路上喫煙の防止のために必要な取組みは「喫煙者のマナー・モラル向上の啓発活動」が最も多い。

図 4-1 喫煙の有無 (n=2, 500)

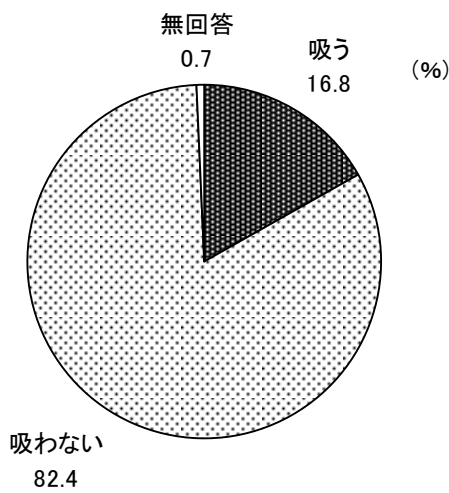


図 4-2 「越谷市路上喫煙の防止に関する条例」の認知 (n=2, 500)

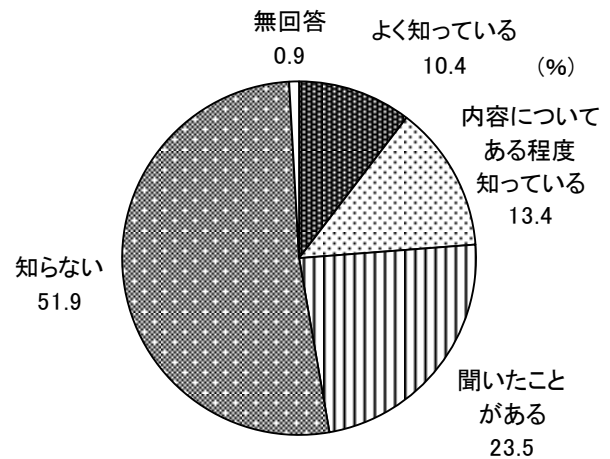


図 4-3 「路上喫煙禁止区域」の認知 (n=2, 500)

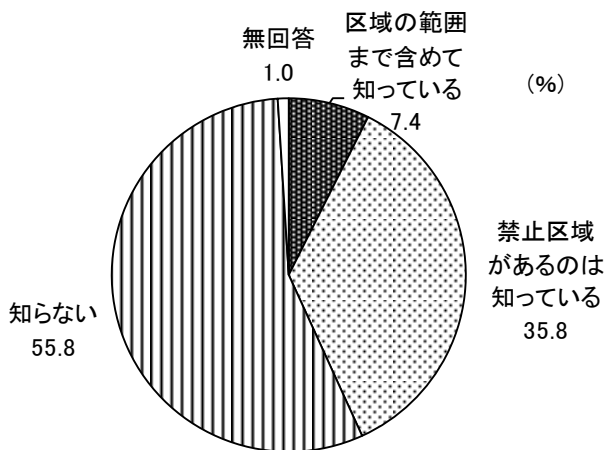


図 4-4 路上喫煙防止のために必要な取組み (上位 5 位) (n=2, 500)

内容	意見数
喫煙者のマナー・モラル向上の啓発活動	436
取締りや見廻り、罰金・罰則を強化する	289
禁止区域、喫煙所をわかりやすくPRする	247
喫煙所を増やす	215
喫煙禁止区域を増やす	123

5. 在宅医療・介護ニーズについて

- 自分に介護が必要になった場合の介護の希望は「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば、自宅で介護を受けたい」が4割弱で最も多い。
- 家族に介護が必要になった場合の介護の希望は「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けさせたい」が約3割で最も多い。
- 療養生活を送りたい場所について「自宅で療養して必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」が約3割で最も多い。

図 5-1 自分に介護が必要になった場合の希望（上位 5 位）（n=2, 500）

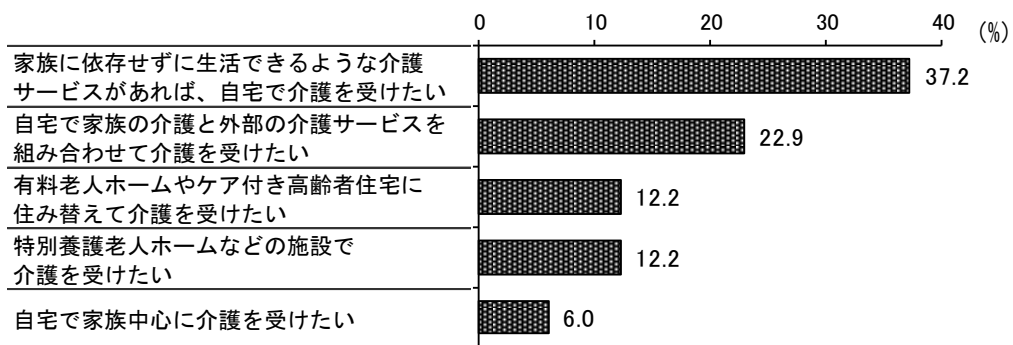


図 5-2 家族に介護が必要になった場合の希望（上位 5 位）（n=2, 500）

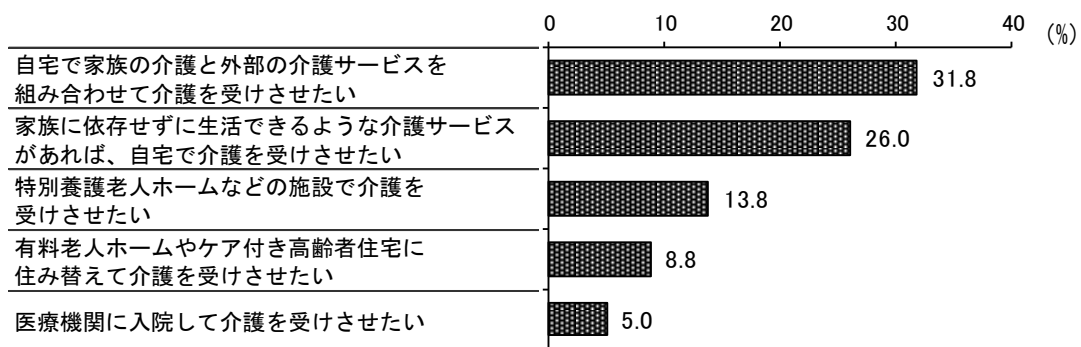
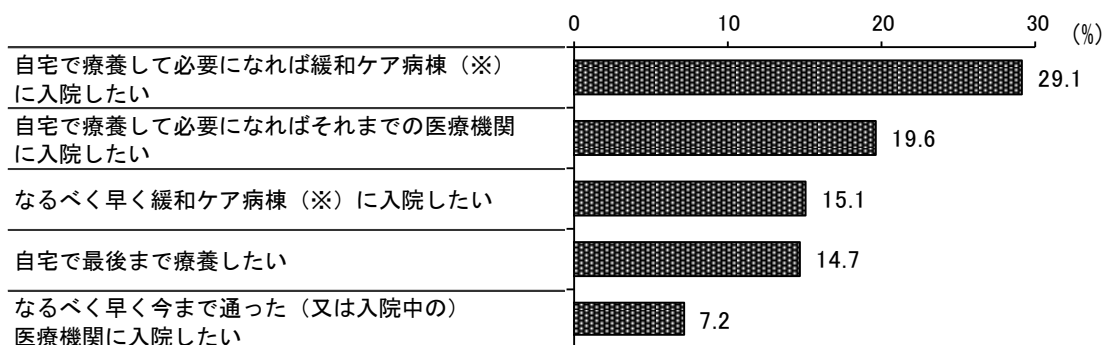


図 5-3 療養生活を送りたい場所（上位 5 位）（n=2, 500）



※「緩和ケア病棟」：終末期における症状を和らげることを目的とした病棟

6. 市内の公共交通について

○公共交通の利用有無について、鉄道は「常に利用している」が約3割、バスは「全く利用しない」が3割半ば、タクシーは「たまに利用している」「全く利用しない」がともに約4割が多い。

○公共交通の満足度で、『満足』（「とても満足している」+「やや満足している」）は鉄道が8割強、バスが5割半ば、タクシーが6割弱。

図 6-1 公共交通の利用有無 (n=2,500)

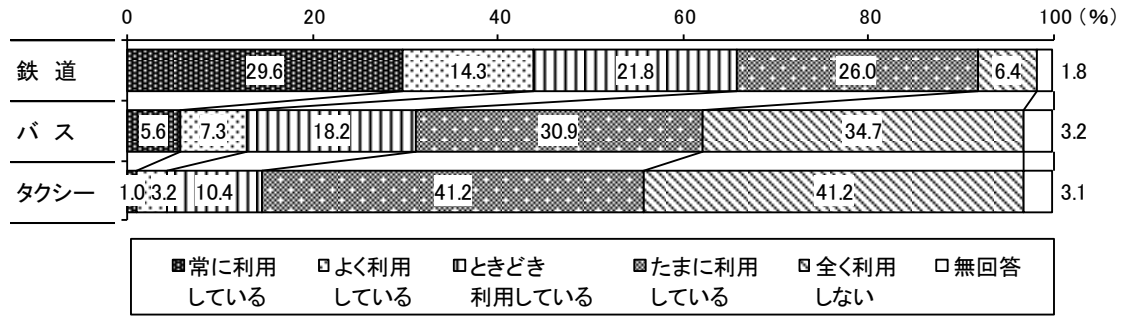
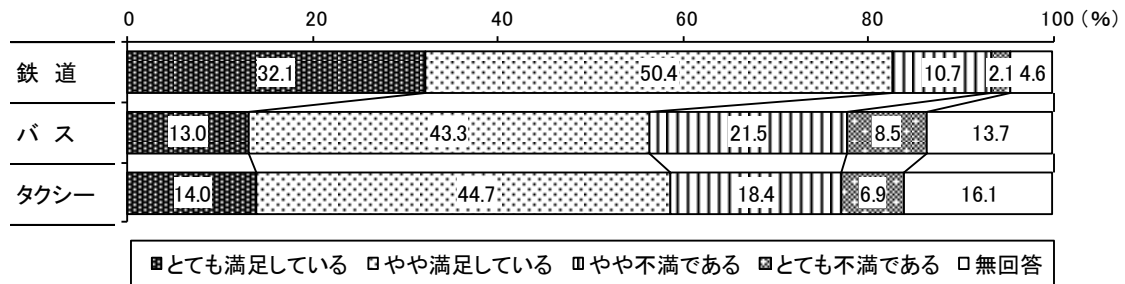


図 6-2 公共交通の満足度 (n=2,500)



7. 起業について

- 起業意向について『起業意向あり』（「起業する予定である」＋「機会があれば起業したい」）は約1割。
- 起業の際に期待する支援は「起業のための資金調達（融資・補助金等）の支援をしてほしい」が5割半ばで最も多い。
- 起業したくない理由は「起業することに現実味がない、起業したいと考えたことがない」が4割強で最も多い。

図 7-1 起業意向 (n=2,500)

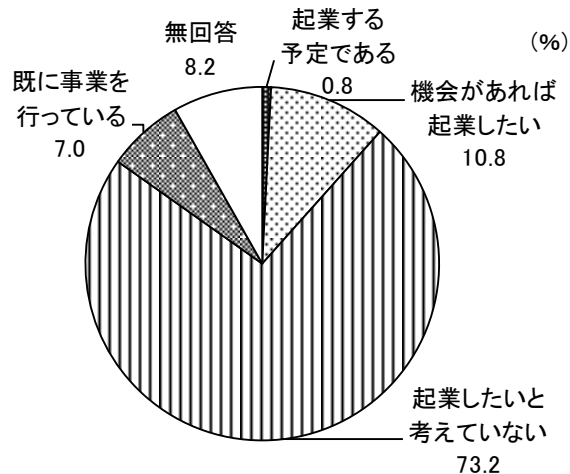


図 7-2 起業の際に期待する支援（上位5位）(n=291)

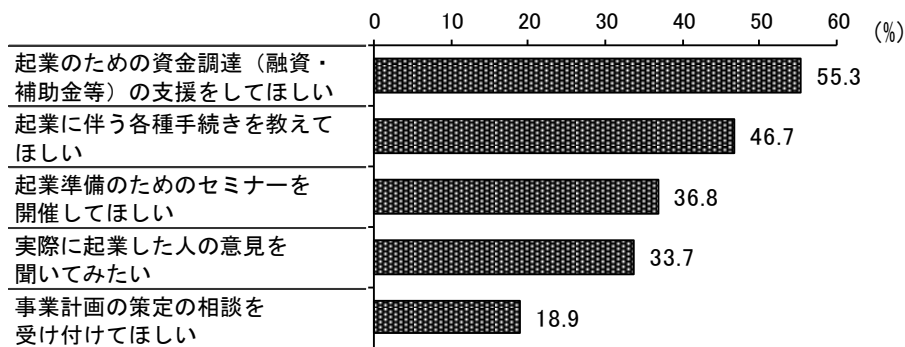
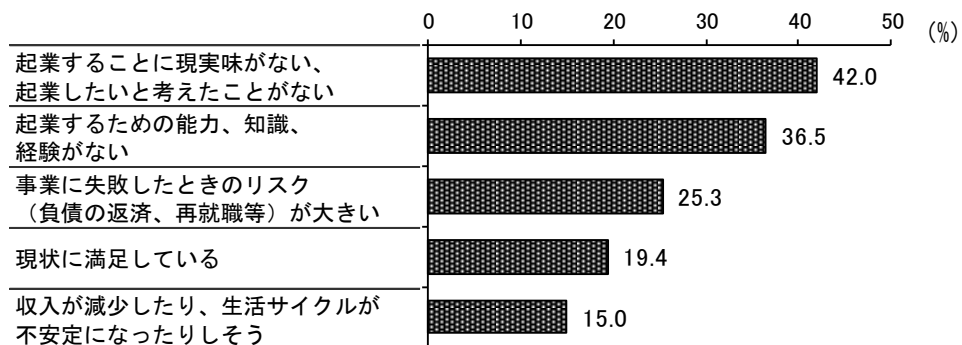


図 7-3 起業したくない理由（上位5位）(n=1,829)



8. 越谷市の伝統的手工芸品について

- 越谷市の伝統的手工芸品の認知について『知っている』（「買ったことがある」＋「知っているが買ったことはない」）は「越谷だるま」が8割弱で最も多く、「越谷手焼きせんべい」が7割弱、「越谷ひな人形」が6割強と続く。また、「買ったことがある」では、「越谷手焼きせんべい」が4割強と最も多く、「越谷だるま」が約2割、「越谷ひな人形」が約1割と続く。
- 越谷市伝統的手工芸品に期待する取組みについて「技術の継承（後継者の育成）」「見学・体験などの受入れ」がともに3割半ばと多い。

図 8-1 越谷市の伝統的手工芸品の認知（n=2,500）

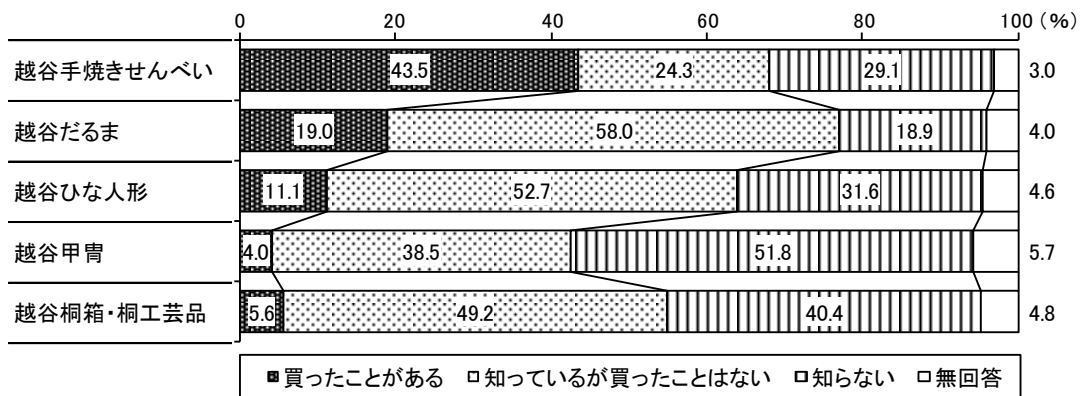
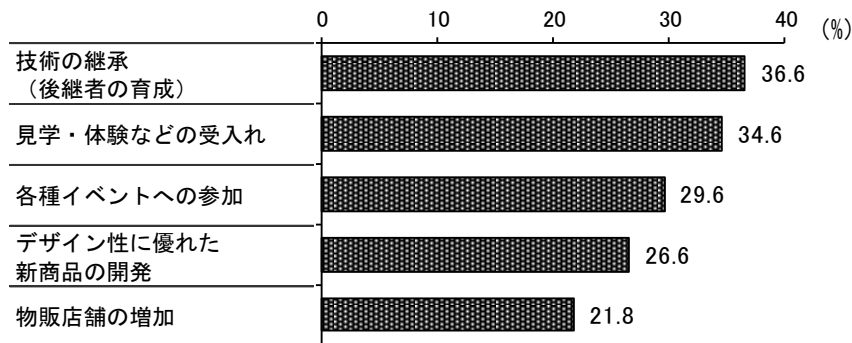


図 8-2 越谷市伝統的手工芸品に期待する取組み（上位 5 位）（n=2,500）



9. 医療費適正化（医療費通知）について

- 加入保険について「被用者保険」が3割半ば、「国民健康保険組合」「越谷市国民健康保険」がともに2割強。
- 医療費通知の内容について「確認している」が7割強。
- 医療費通知を受け取ったことで「健康な身体づくりを意識しようと思う」「医療機関への適正な受診を心がけようと思う」が7割弱。
- 医療費通知に関する意見では「通知の必要性を感じない、無駄である、やめた方がよい」が最も多い。

図 9-1 加入保険 (n=2, 500)

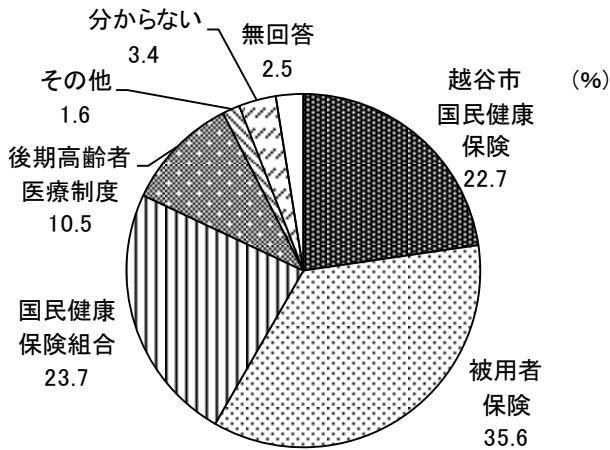


図 9-2 医療費通知の確認 (n=2, 500)

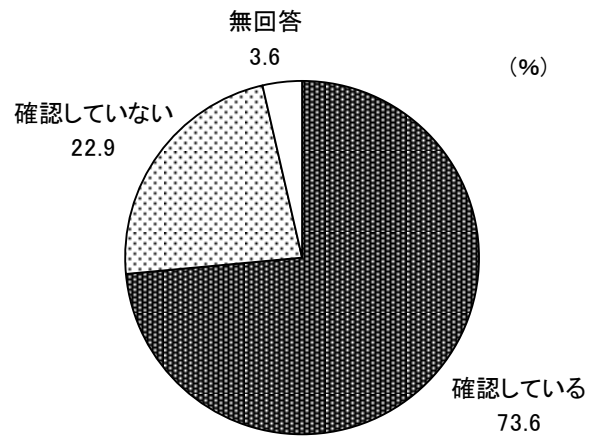


図 9-3 医療費通知を受け取って思うこと (n=1, 839)

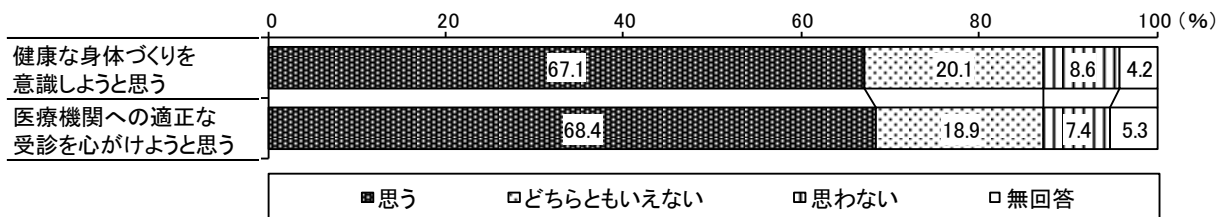


図 9-4 医療費通知に関する意見 (上位 5 位) (n=2, 500)

内容	意見数
通知の必要性を感じない、無駄である、やめた方がよい	44
通知はもっと早い方が良い、通知頻度を増やしてほしい	30
医療費が高い	16
内容を確認するのに必要、役立つ	16
現状のままでよい、これからも続けてほしい	14

10. 景観（風景）について

- 住まいの地区の景観（風景）の満足度は『満足』（「満足している」+「十分とはいえないが、概ね満足している」）が6割強。
- 良い景観（風景）のまちをつくるために行政に望むものは「良好な景観づくりに役立つ公共事業」「目標や基本方針を住民に示す」がともに約4割と多い。

図 10-1 景観（風景）の満足度 (n=2,500)

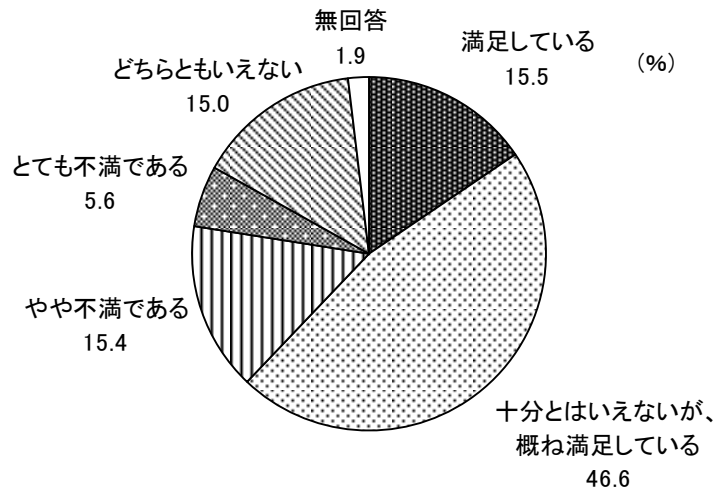
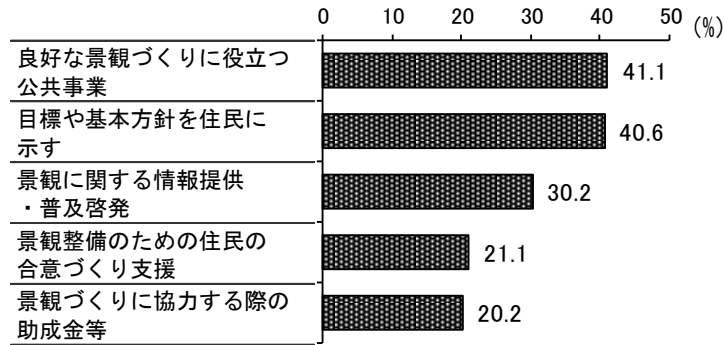


図 10-2 行政に望むこと（上位 5 位） (n=2,500)



11. こしがやブランド認定品について

- こしがやブランド認定品について『知っている』（「知っていて、買ったことがある」＋「知っているが、買ったことはない」）が約5割、「知っていて、買ったことがある」は2割強。
- 購入した理由は「家族や友人等と食べるため」が約5割で最も多い。
- こしがやブランド認定品に求めるものは「市のイメージアップやPR活動につながること」が約4割で最も多い。

図 11-1 こしがやブランド認定品の認知と購入経験 (n=2,500)

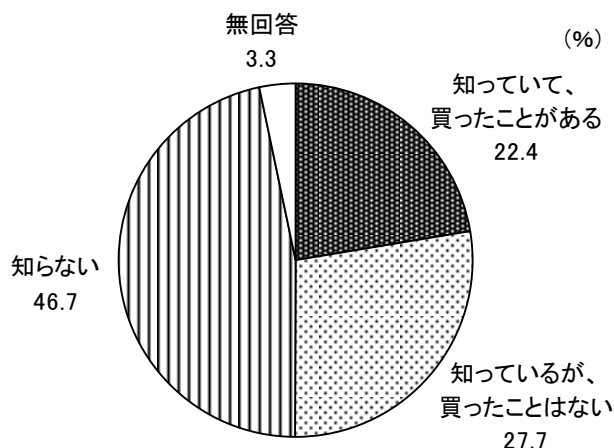


図 11-2 こしがやブランド認定品を購入した理由 (上位 5 位) (n=559)

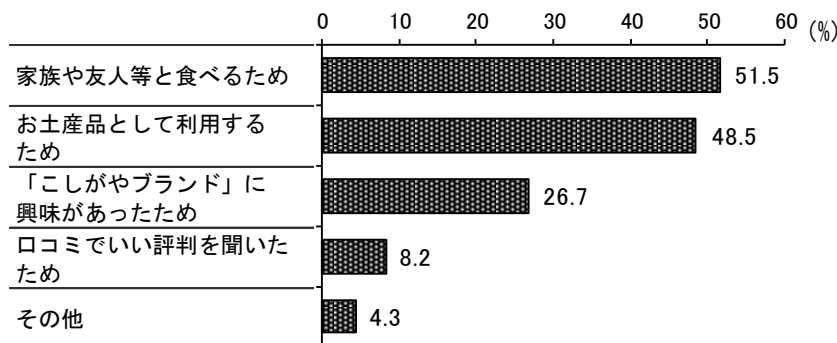
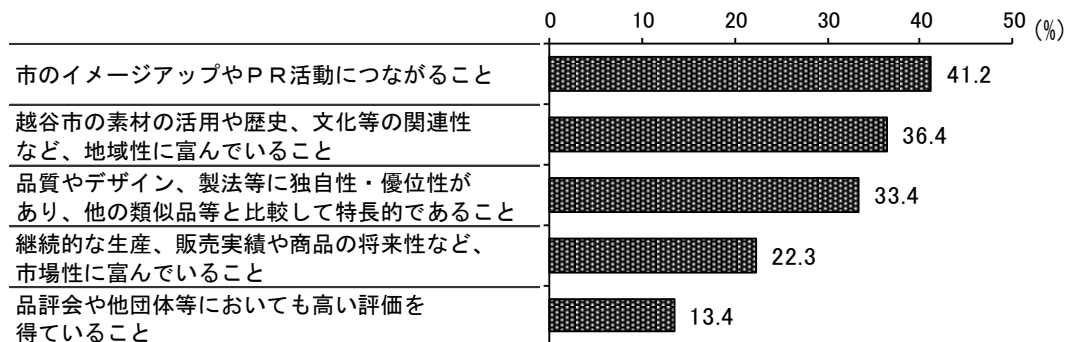


図 11-3 こしがやブランド認定品に求めるもの (上位 5 位) (n=2,500)



1.2. 地場農産物や地産地消について

- 越谷市の農業特産物の認知について「くわい」が6割強で最も多い。
- 越谷市の農業特産物の購入経験は「ねぎ」が6割で最も多く、購入場所は「市内スーパーマーケット」が3割半ば。
- 野菜の購入場所は「スーパーマーケット」が約9割で最も多く、野菜を購入するときに意識することは「鮮度の良さ」が8割半ばで最も多い。
- 地産地消推進のために必要だと思うことは「スーパーマーケットなど、地場農産物を購入できる店の増加」が8割弱で最も多い。

図 12-1 越谷の農業特産物の認知（上位 5 位）（n=2,500）

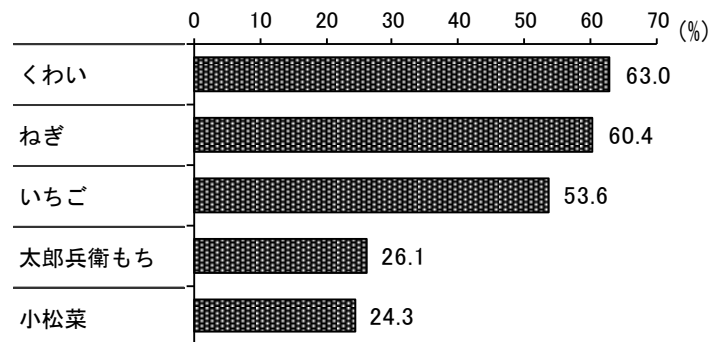


図 12-2 越谷の農業特産物の購入経験・購入場所（n=2,500）

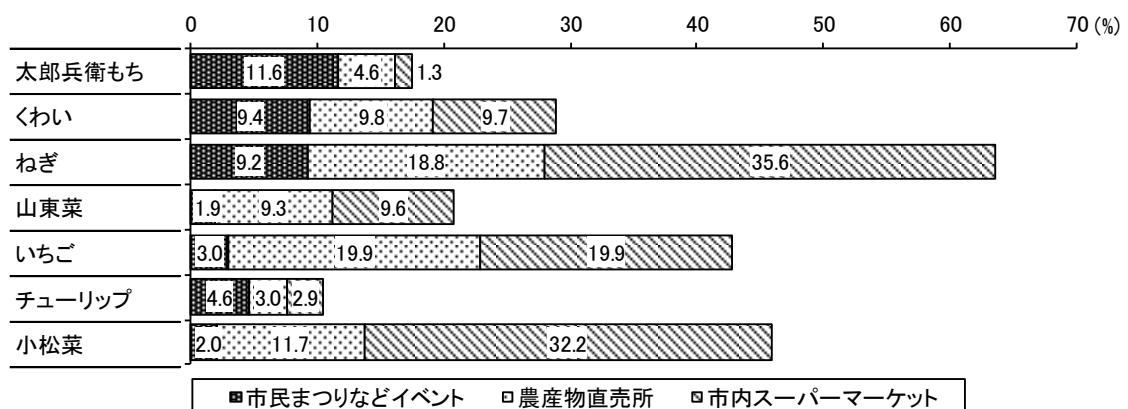
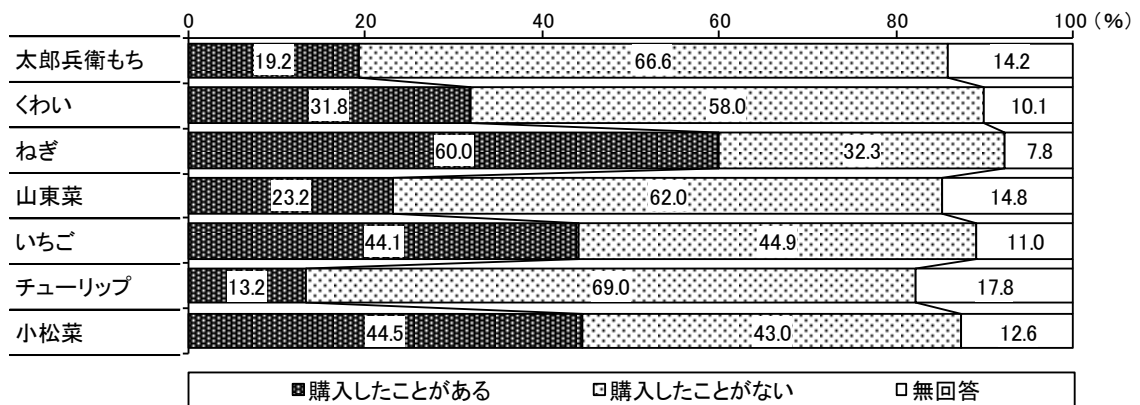


図 12-3 野菜の購入場所（上位 5 位）（n=2,500）

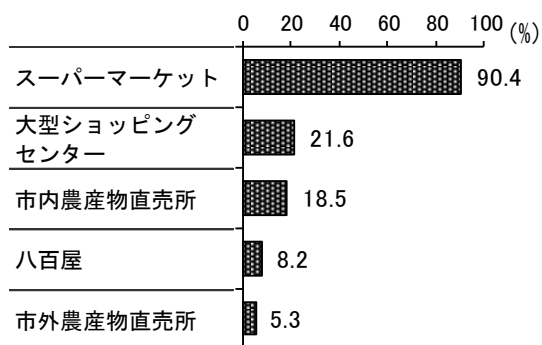


図 12-4 野菜を購入するとき意識すること（上位 5 位）（n=2,500）

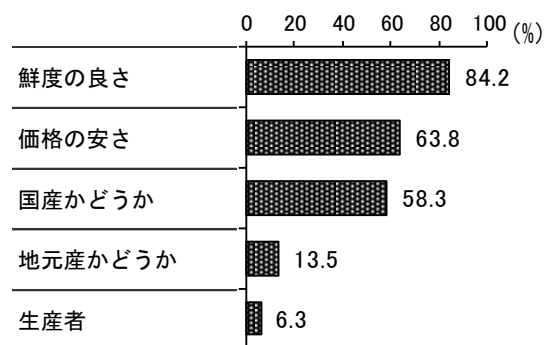
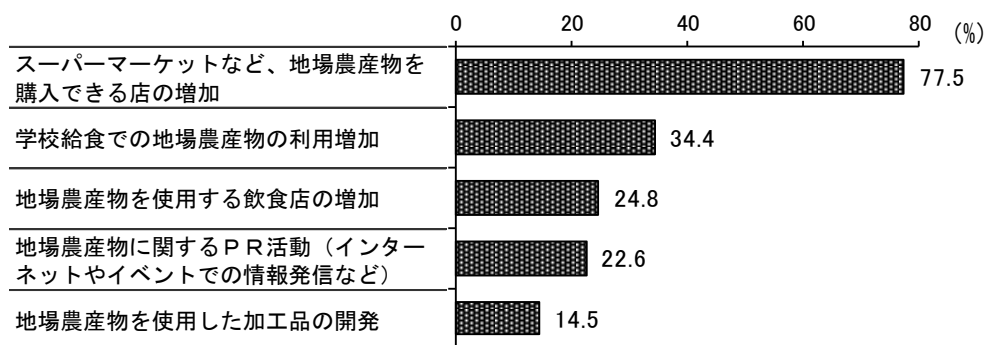


図 12-5 地産地消推進に必要なこと（上位 5 位）（n=2,500）



1.3. 住宅用火災警報器の設置状況について

- 住宅用火災警報器の設置状況は「設置されている」が約7割。
- 住宅用火災警報器の設置場所は「台所」が7割半ば、「寝室」が5割半ば。
- 住宅用火災警報器の点検について『点検方法を知っている』が6割強。
- 交換時期について「知っている」は3割弱。

図 13-1 住宅用火災警報器の設置 (n=2,500)

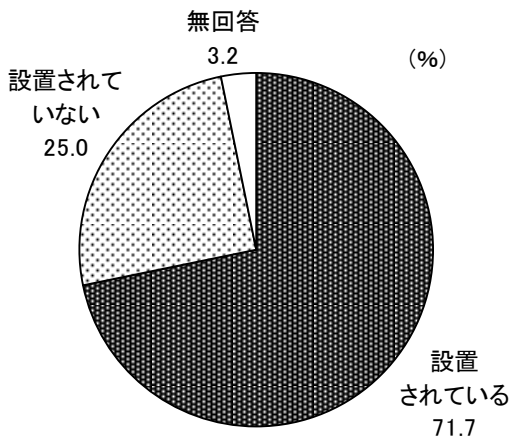


図 13-2 住宅用火災警報器の設置場所 (上位5位) (n=1,793)

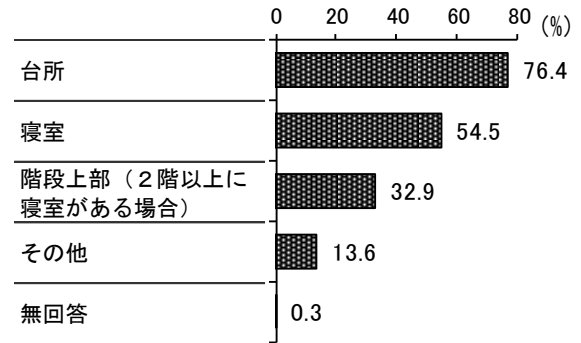


図 13-3 住宅用火災警報器の点検 (n=1,793)

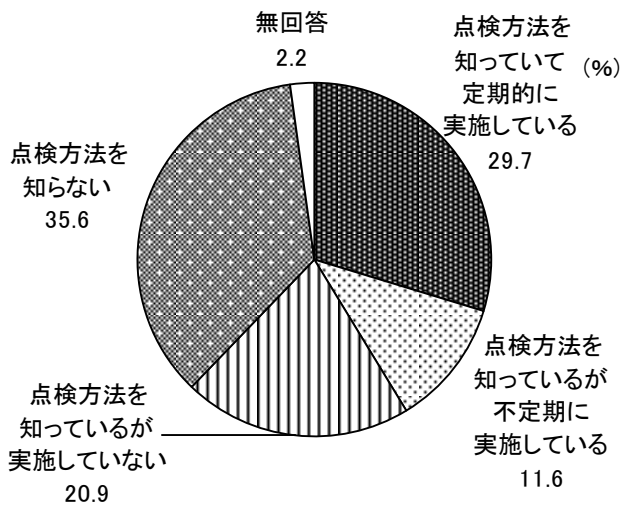
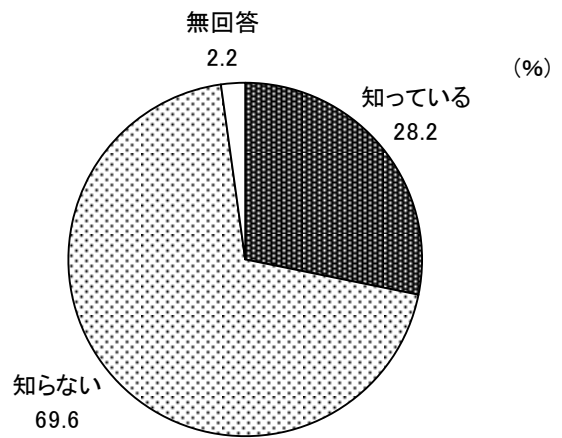


図 13-4 住宅用火災警報器の交換時期 (n=1,793)



14. 自治基本条例について

- 「越谷市自治基本条例」の認知について『知っている』（「よく知っている」+「まあまあ知っている」）が1割未満。
- 関心のある市政に参加する方法は「アンケート」が4割強で最も多い。
- 関心のあるまちづくりの分野は「暮らしの安全・安心に関すること（防災、防犯、消防、消費生活など）」が約6割で最も多い。
- まちづくりのためにできることは「お祭りや町内会・自治会などが主催するイベントに参加する」が5割半ばで最も多い。
- 協働の担い手は「自治会」が5割半ばで最も多い。

図 14-1 「越谷市自治基本条例」の認知 (n=2,500)

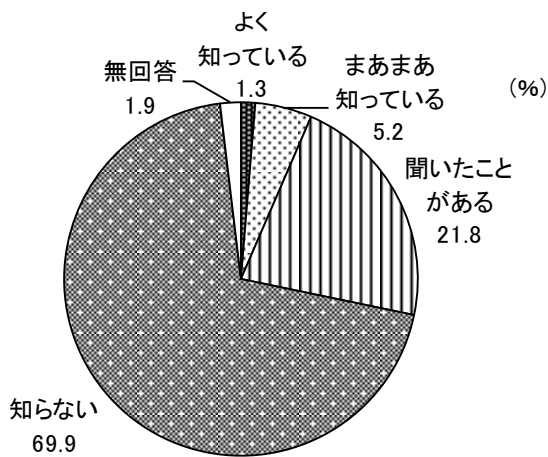


図 14-2 関心のある市政に参加する方法 (上位5位) (n=2,500)

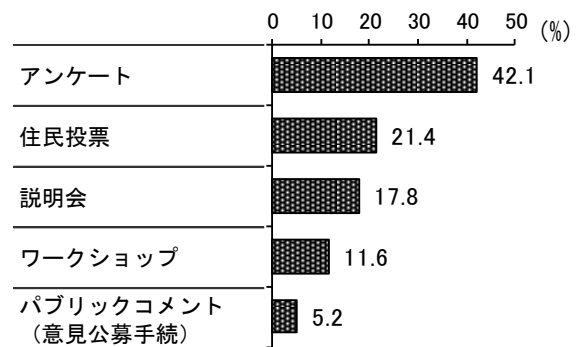


図 14-3 関心のあるまちづくりの分野 (上位5位) (n=2,500)

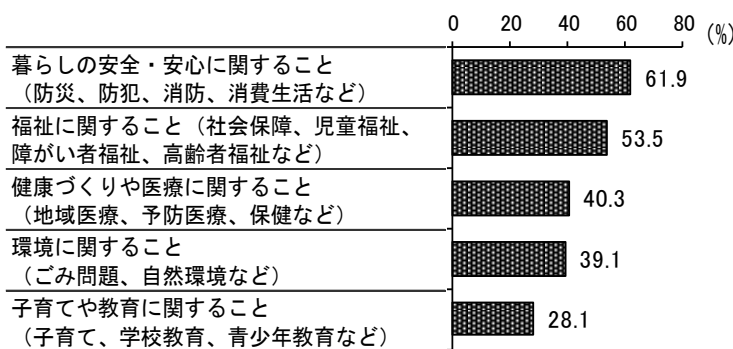


図 14-4 まちづくりのためにできること (上位5位) (n=2,500)

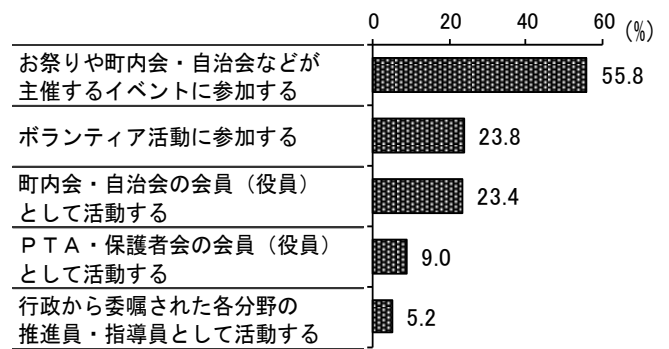
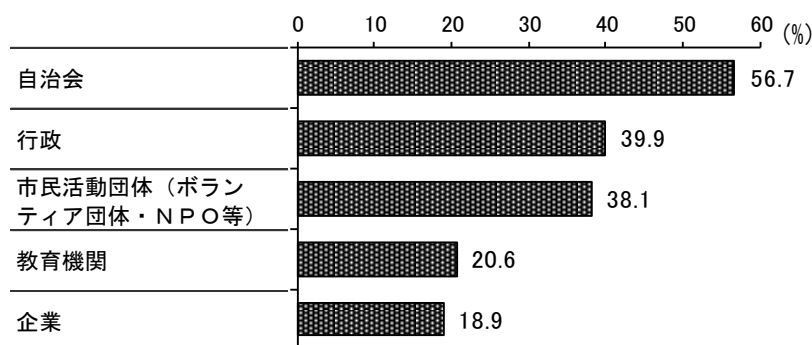


図 14-5 協働の担い手 (上位5位) (n=2,500)



15. 越谷市への愛着度と魅力発信について

- 越谷市への愛着は『愛着がある』（「とても愛着がある」+「愛着がある」+「やや愛着がある」）が7割半ば。
- 愛着がある理由は「交通の利便性がよく、都内等に近い」が7割半ばで最も多い。
- 越谷市の誇れるものは「イオンレイクタウン」が約6割で最も多い。
- 観光やレジャーで知りたい情報は「イベントや催しなどの催事情報」が約5割で最も多い。
- 観光情報を得る方法は「ホームページ」が約4割で最も多い。
- 越谷駅東口高架下の拠点施設への期待は「ご当地グルメ、地場野菜の惣菜などの提供」が5割強で最も多い。

図 15-1 越谷市への愛着 (n=2,500)

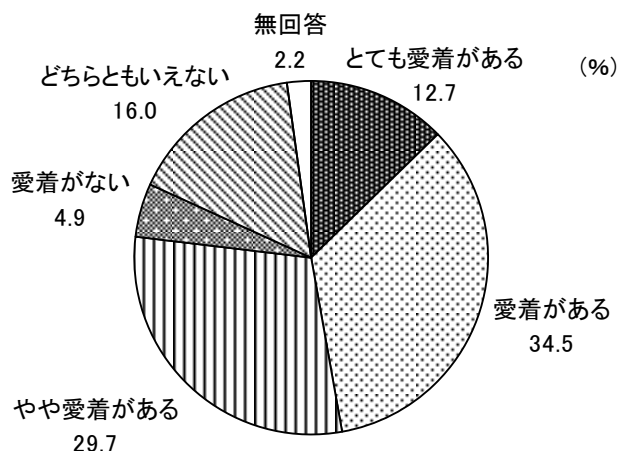


図 15-2 愛着がある理由 (上位 5 位) (n=1,924)

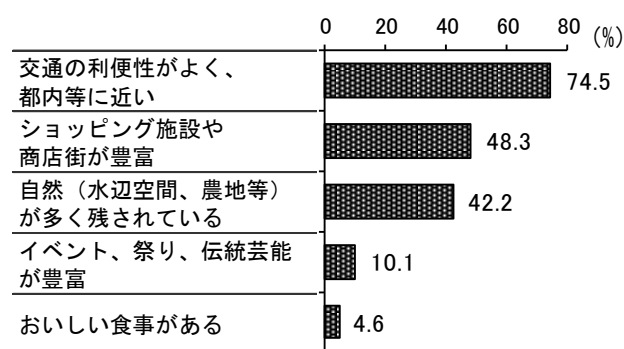


図 15-3 越谷市の誇れるもの (上位 5 位) (n=2,500)

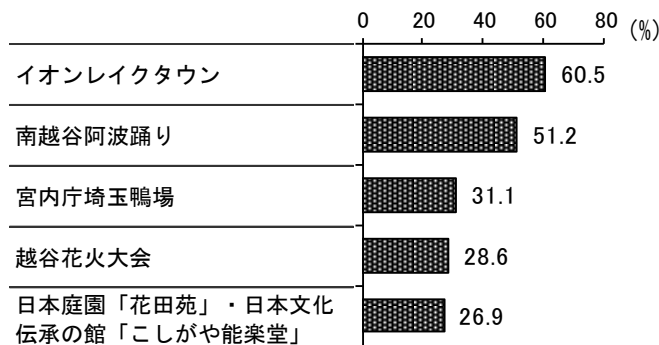


図 15-4 観光やレジャーで知りたい情報 (上位 5 位) (n=2,500)

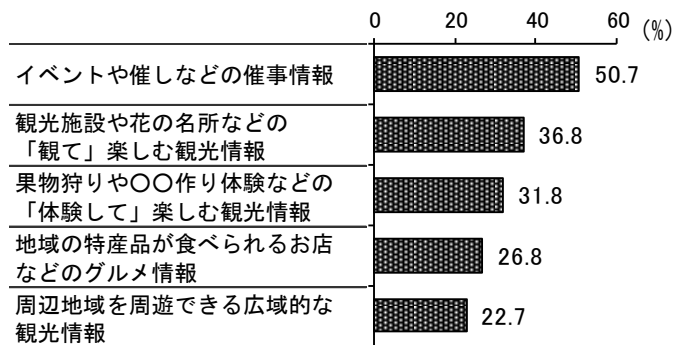


図 15-5 観光情報を得る方法 (上位 5 位) (n=2,500)

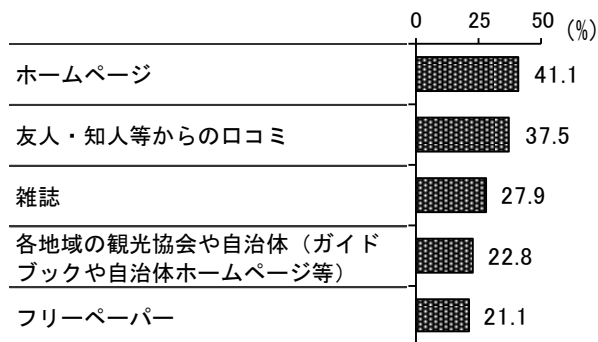
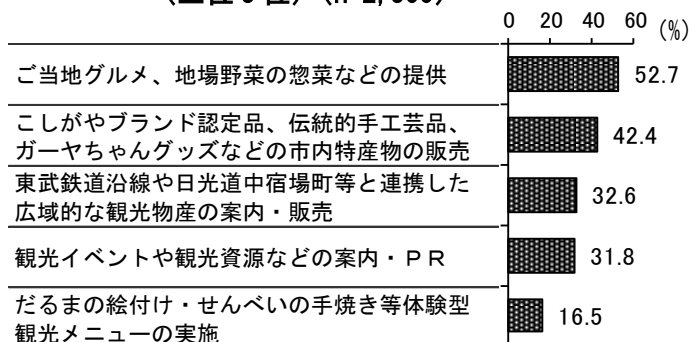


図 15-6 越谷駅東口高架下の拠点施設への期待 (上位 5 位) (n=2,500)



16. スポーツ・レクリエーションの実施状況について

- この1年間のスポーツ・レクリエーション活動の実施状況は『週1回以上』が4割弱。
- 活動を行った主な理由は「運動不足解消」が6割半ばで最も多い。
- 活動の効果は「運動不足が解消した」が約5割で最も多い。
- 活動を行っていない理由は「仕事（家事、育児も含む）や勉強が忙しいから」が約4割で最も多い。
- 今後、行ってみたい活動内容は、比較的軽いスポーツが「ウォーキング」、野外活動が「ハイキング」、競技的スポーツが「テニス」で最も多い。

図 16-1 スポーツ・レクリエーション活動の実施状況 (n=2,500)

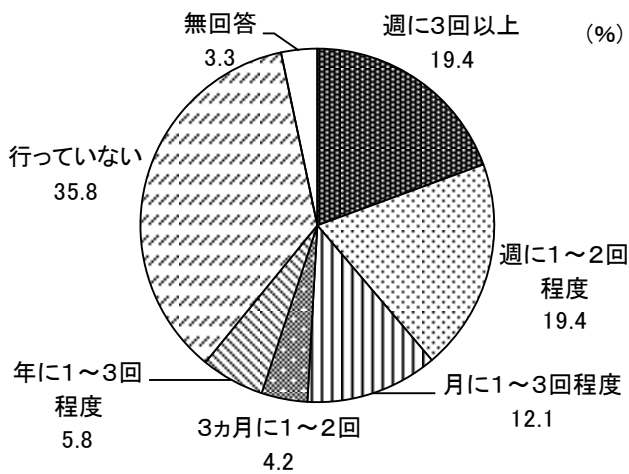


図 16-2 スポーツ・レクリエーション活動を行った主な理由 (上位5位) (n=1,522)

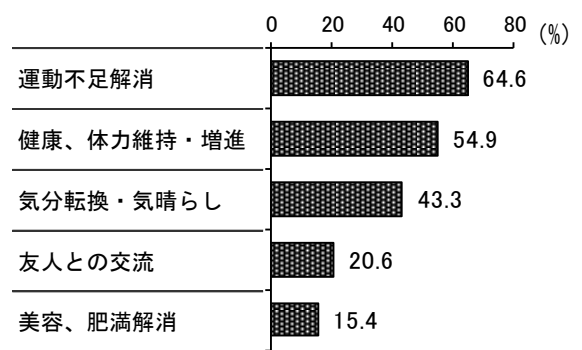


図 16-3 スポーツ・レクリエーション活動の効果 (上位5位) (n=970)

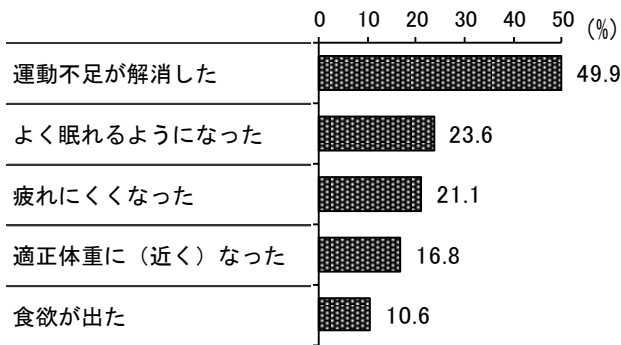


図 16-4 スポーツ・レクリエーション活動を行っていない理由 (上位5位) (n=895)

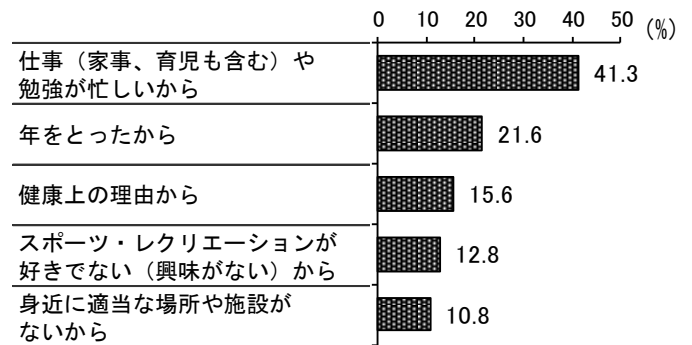
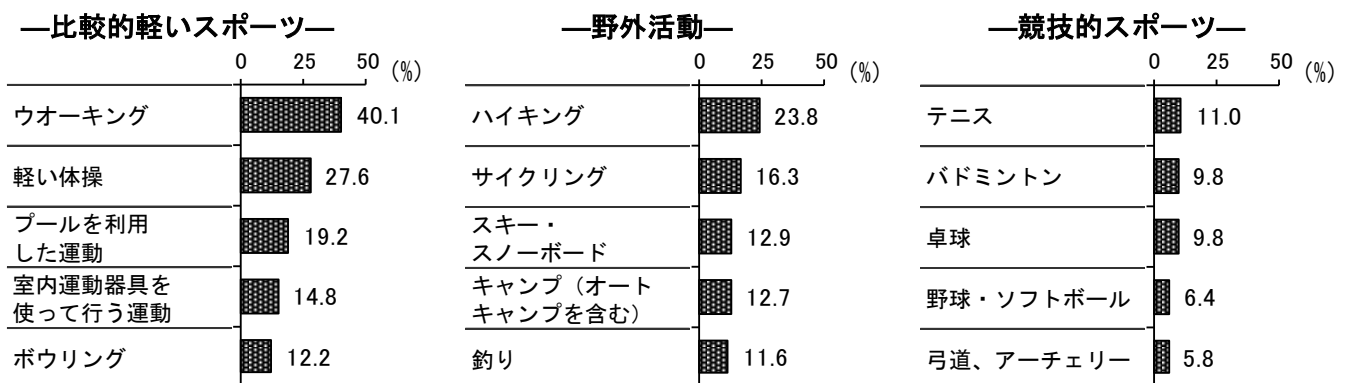


図 16-5 今後、行ってみたいスポーツ・レクリエーション活動 (上位5位) (n=2,500)



17. 地域医療体制について

- 地域医療体制の認知は「越谷市夜間急患診療所」が7割半ば、「休日当番医制度」が7割強、「小児救急電話相談（#8000）」が4割半ば、「大人の救急電話相談（#7000）」が3割半ば。
- 医療機関の情報の入手方法は「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が4割半ばで最も多い。
- 夜間や休日の急病の対応は「越谷市夜間急患診療所を利用する」が3割半ばで最も多い。

図 17-1 地域医療体制の認知 (n=2,500)

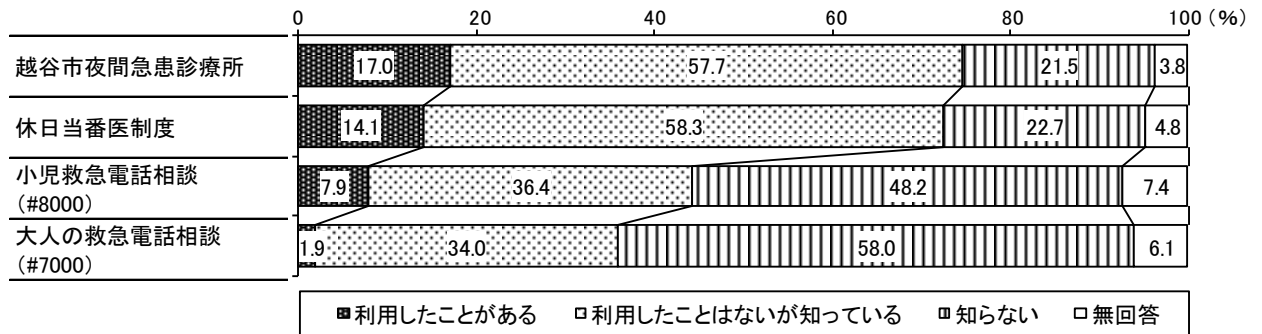


図 17-2 医療機関の情報の入手方法 (上位 5 位) (n=2,500)

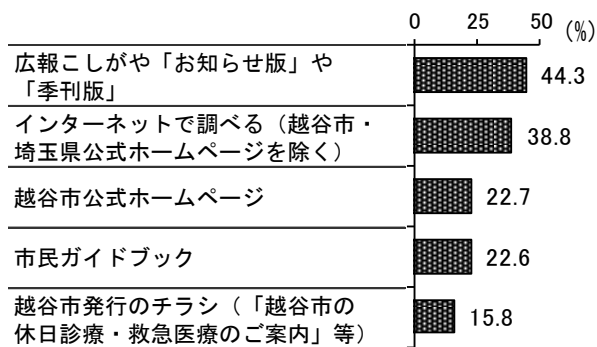
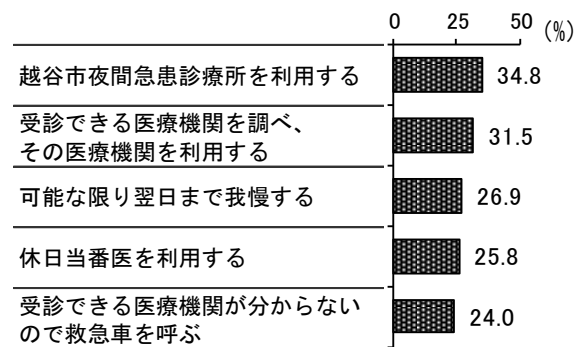


図 17-3 夜間や休日の急病の対応 (上位 5 位) (n=2,500)



18. 広報について

- 市政情報を主に得ているものは「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が7割強で最も多い。
- 市政情報を得るために活用したことがあるものは「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が約7割で最も多い。
- 広報こしがやの感想は『分かりやすい』（「分かりやすい」+「おおむね分かりやすい」）が「お知らせ版」で7割半ば、「季刊版」で約7割。
- 広報こしがやで分かりにくい点は「お知らせ版」「季刊版」とともに「文字が小さい」が多い。

図 18-1 市政情報を得ているもの
(上位 10 位) (n=2,500)

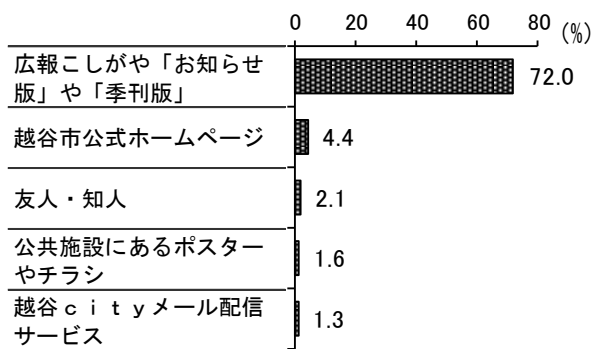


図 18-2 市政情報を得るために活用したことがあるもの
(上位 10 位) (n=2,500)

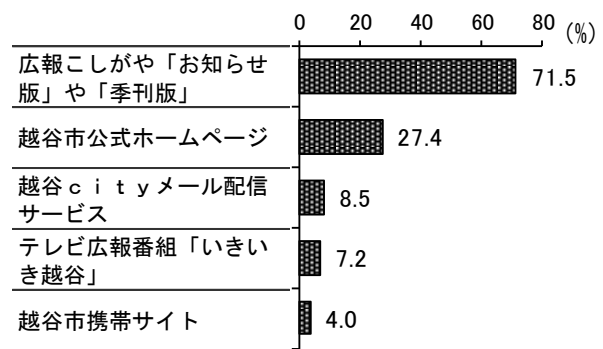


図 18-3 広報こしがや「お知らせ版」「季刊版」の感想 (n=1,788)

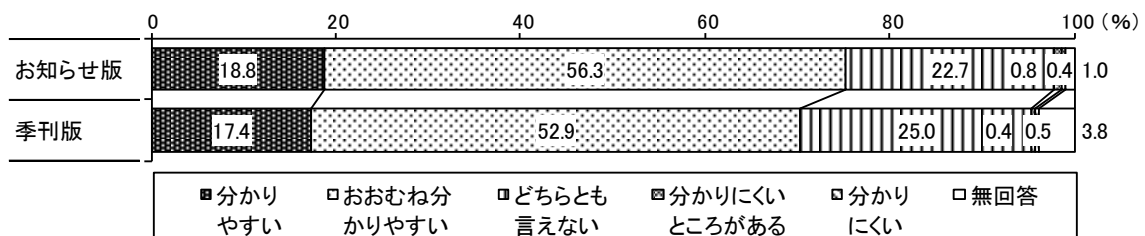


図 18-4 広報こしがや「お知らせ版」で
分かりにくい点 (意見数が 2 件以上)
(n=22)

内容	意見数
文字が小さい、細かすぎる	6
レイアウトやデザインが見にくい	5
情報量が少ない	3
内容がはっきりしない、バラバラな印象がある	3
同じような記事が多い	2
必要な情報を分かりやすく、不必要な情報が多い	2

図 18-5 広報こしがや「季刊版」で
分かりにくい点 (意見数が 2 件以上)
(n=16)

内容	意見数
文字が小さい	5
情報量が少ない	4
内容がはっきりしない、伝わらない	3
レイアウトが見にくい	2

19. 越谷市の施策について

- 市の施策について、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」は「駅周辺の整備」が約4割で最も多い。
- 今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」は「水害や地震などの災害対策」が3割半ばで最も多い。

図 19-1 よくなってきたと感じるもの
(上位 10 位) (n=2,500)

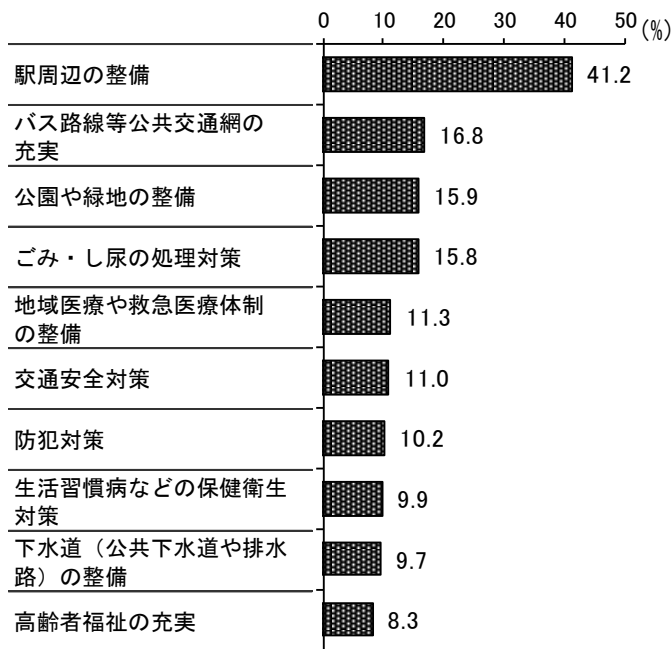
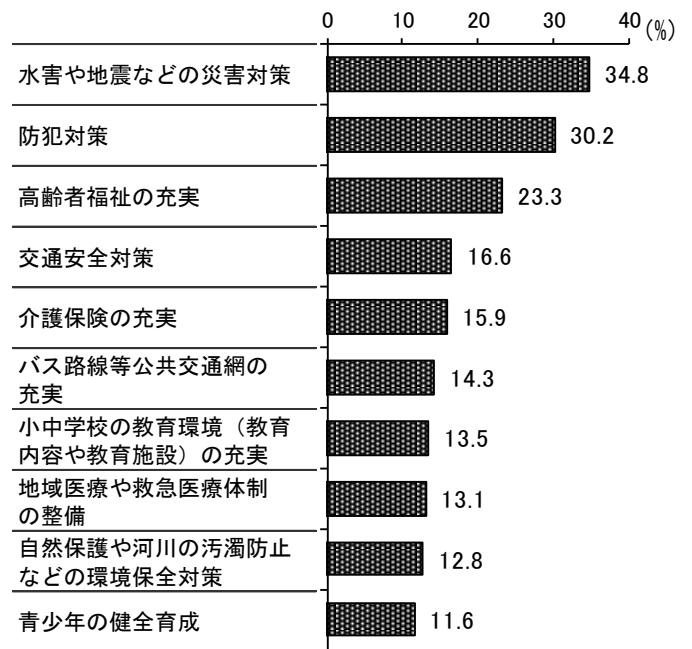


図 19-2 特に力を入れるべきだと思われるもの
(上位 10 位) (n=2,500)



市政世論調査報告書 概要版

平成28年11月

発行：越谷市 市長公室 広報広聴課

〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号

電話 048-963-9117（直通）
